「WEB 教育実習ノート（なるため実習ノート）」を活用した教育実習

平成 18 年度文部科学省「資質の高い教員養成推進プログラム」で選定された『WEB 教育実習ノートによる自主学習の支援』の計画は、金沢大学在籍の高等学校教員志望者が金沢大学附属高校で教育実習を受ける場合に、学生の自主学習を強力に支援し、教師としての実践力を養成するための取り組みです。

『WEB 教育実習ノートによる自主学習の支援』は、教育学部が従来から取り組んできた「訪問対話型教育実習指導・評価システム」（教育学部では平成 15 年度より教育実習の評価を、実習生・附属学校指導教員・学部指導教員の三者による面談を行い、教育実習のふり返りと評価を行っている。）をさらに発展させて、教育実習システムの統一・標準化を図るものです。

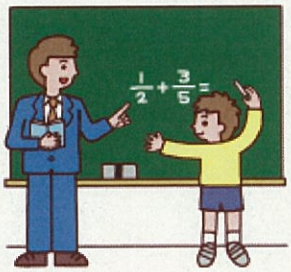
平成 18 年度に実施・指導体制と運営組織の確立、及び WEB 実習ノートシステム（実習生個人サイト、連携・連絡サイト）の作成を行い、平成 19 年度から金沢大学附属高校の教育実習において本格的に実施し、現在まで継続してこのシステムを使った教育実習を実施しています。

このシステムの特色は

① 学習記録や授業実践記録を WEB サイトに集積することにより、実習生・附属高校指導教員・学部指導教員の実習記録・実習関連情報の共有化が促進される。

② 教員は学生の学習・実習の進捗状況を随時確認でき、教育効果の把握及び適切な指導が行える。これにより、評価の場面だけでなく、実習の全ての場面においてきめ細やかな対話型実習指導が可能となる。

③ 実習記録のデジタルポートフォリオ化することにより、学生の自宅学習、自己分析、自己改善が促進される。

等です。

より詳細な説明は金沢大学ホームページの中に掲載されておりますので、御覧下さい